

耐熱性細菌由来アデニレートキナーゼ (80°C)

Cat. No. CEGZ-6399

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 80°Cまでの熱安定性を有する組換え細菌由来アデニレートキナーゼであり、高温条件下でのヌクレオチドリン酸化ワークフローに適しています。

用途 研究用途およびin vitroにおいて、AMPまたはdAMPを $\square\square$ する二リン酸ヌクレオチドへリン酸化するため。

別名 ADK; AMPK; アデニル酸キナーゼ; アデニロキナーゼ; 5'-AMPキナーゼ; ミオキナーゼ; ATP: AMPホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種 細菌性

由来 組換え大腸菌 (E. coli)

形態 液体

EC番号 EC 2.7.4.3

CAS登録番号 9013-02-9

分子量 26.4 kDa

熱安定性 80°Cまでの耐熱安定性を有する

特異性 AMPおよびdAMP

基質 ATP; AMP; dAMP

反応 $ATP + AMP = 2 ADP$

備考 大腸菌 (E. coli) で発現させた組換えタンパク質を、加熱処理およびHis6タグアフィニティークロマトグラフィーにより精製した。最適な反応時間および酵素濃度は、基質により $\square$ 動する場合がある。

プロトコル 70 mM Tris-HCl、pH 7.6 (50°Cにて) 10 mM MgCl₂ 5 mM AMP 6 mM dATP 酵素 0.04 g/L 50°C、終夜 (オーバーナイト)

使い方 研究用およびin vitro用途にのみ使用してください。

保管・発送情報

保存方法 -20°C